

巻末資料-2 県民の意識調査

調査方法は、インターネットによるアンケート調査で、1,200人を対象に実施（有効回答 516）しました。調査結果を図1～図7に示します。

海岸漂着物の認識については、県民の95%以上が海岸漂着物を認識しており、85%以上の方が、海岸漂着物は景観、地域経済、生態系に影響を与えると回答し、関心の高さが伺えました（図1、図2）。

海岸清掃への参加意欲については、35%の人が参加したい（図3）としている一方で、清掃活動への参加経験は20%にとどまっていた（図4）。清掃活動に関するイベントを知らないとの回答が55%（図5）であり、告知の機会を増やすことで、参加者の増加が期待されました。また、海岸への訪問頻度は年数回以下が83%（図6）であり、海岸にはあまり行かない状況が伺われ、その対策が課題と考えられます。

将来の海岸の姿を尋ねた設問（複数回答あり）では、「ごみのないきれいな海岸」が65%、次いで、「魚介類や海藻などの自然の生き物が生息できる海岸」が63%、次に「自然の美しい景観」が53%となり、ごみのない美しい景観や生物の生息できるきれいな海岸が望まれていることがわかりました（図7）。

Q：あなたは、日本各地の海岸に多くのごみが漂着していることを知っていましたか。

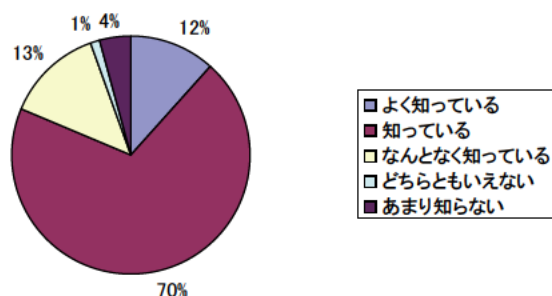


図1 海岸漂着物の認識

Q：海岸に漂着するごみは景観や地域経済、生態系に影響を与えますか。

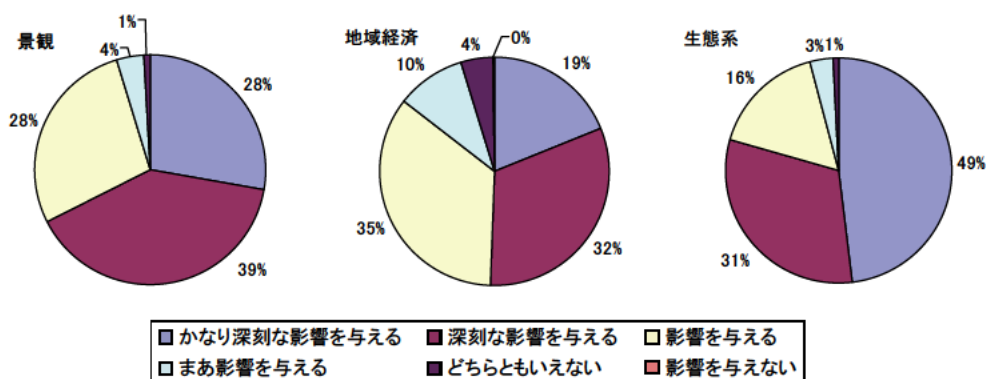


図2 海岸漂着物の影響

Q：海岸の清掃活動に参加
したいと思いますか。

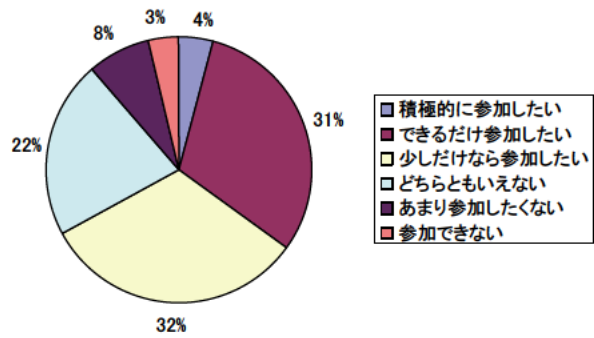


図3 海岸清掃への参加意欲

Q：三重県では「森・川・海のク
リーンアップ大作戦」など、ごみ
の清掃に関するイベントや活
動が開催されています。あなたは
このようなイベントに参加した
ことがありますか。

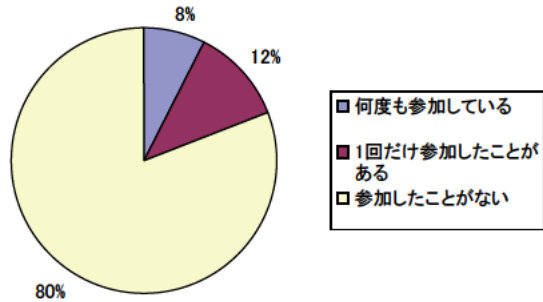


図4 海岸清掃への参加実績

Q：ごみの清掃に関するイベント
についてどの程度知っていますか。

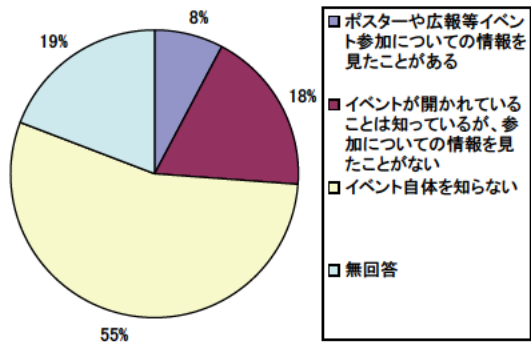


図5 イベント情報の認識度

Q：普段どれぐらいの回数、海を訪
れますか。

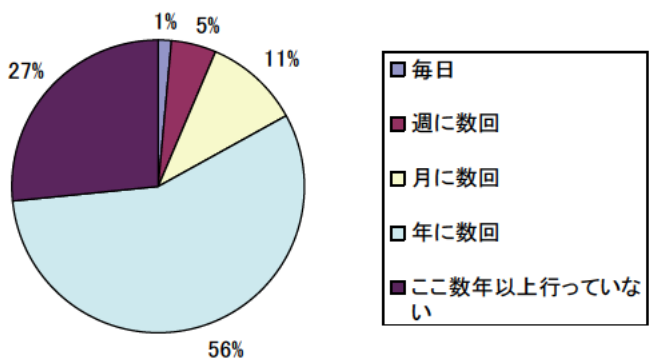


図6 海岸の訪問回数

Q：三重県の海岸を、将来どのようにしたいと思いますか。

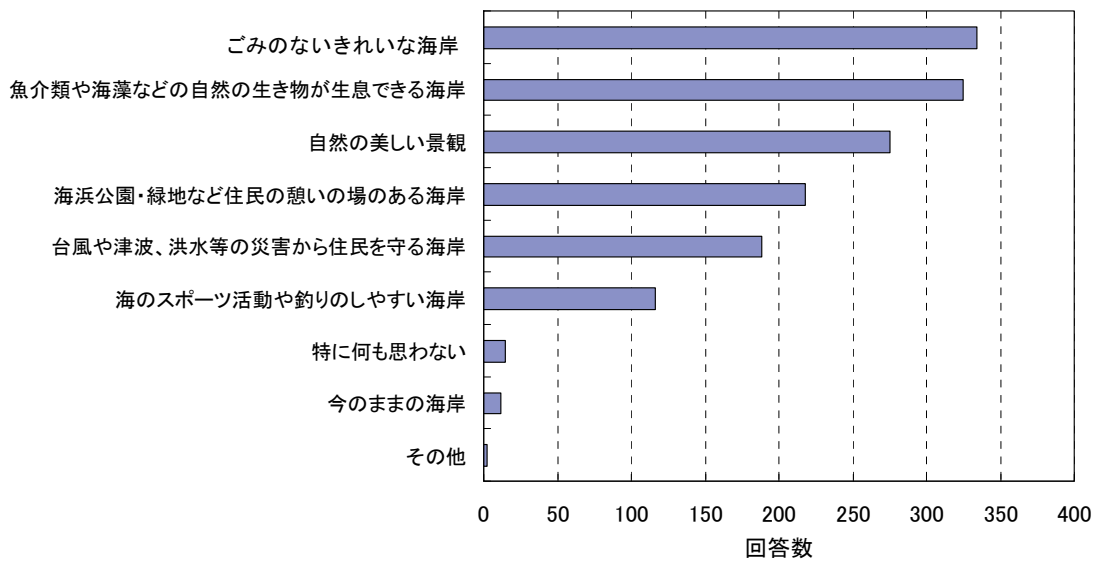


図7 海岸の将来像